



青森県感染症発生情報 (2019年第18週)

I 第18週の発生動向 (2019/4/29~2019/5/5)

1. 水痘については、弘前保健所管内で**注意報**が**解除**されました。
2. 伝染性紅斑については、弘前保健所管内、上十三保健所管内で**警報**が継続しています。

II 第18週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数	
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	32	2.46	9	0.60	6	0.40	12	1.71	35	3.89	23	3.83	117	1.80	-83	
小児科	RSウイルス感染症	2	0.25	1	0.11	1	0.10							4	0.10	-2	
	咽頭結膜熱	2	0.25	4	0.44									6	0.14	-1	
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	4	0.50	8	0.89					7	1.17	1	0.25	20	0.48	-83	
	感染性胃腸炎	3	0.38	4	0.44	2	0.20	28	5.60	1	0.17	13	3.25	51	1.21	-294	
	水痘	1	0.13	4	0.44					1	0.17			6	0.14	-9	
	手足口病			2	0.22					13	2.17	1	0.25	16	0.38	-21	
	伝染性紅斑			9	1.00			4	0.80	7	1.17			20	0.48	-20	
	突発性発しん			2	0.22			3	0.60	1	0.17	1	0.25	7	0.17	-14	
	ヘルパンギーナ																-1
	流行性耳下腺炎			3	0.33			2	0.40					5	0.12	-9	
眼科	急性出血性結膜炎									1	0.50	1	1.00	3	0.27	-6	
	流行性角結膜炎	1	0.50													0	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)					2	2.00	1	1.00	2	2.00	1	1.00	6	1.00	4	
	クラミジア肺炎															0	
	細菌性髄膜炎															0	
	マイコプラズマ肺炎											1	1.00	1	0.17	-1	
	無菌性髄膜炎															0	

■ は警報、■ は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

手足口病 (五類定点把握対象疾患)

手足口病は、主にコクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71などを病原体とするウイルス性感染症です。複数の種類の病原体があるため、何度もかかる可能性があります。

手足口病の症状は、感染して3~5日後に、口の中、手足などに2~3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1に見られますが、あまり高くなりません(38℃以下)、ほとんどの発症者は数日中に治ります。

手足口病は、子どもを中心に夏に流行する感染症で、青森県の過去5年間(2014年~2018年)の定点当たり報告数の推移では、7月下旬頃から8月下旬頃に発生のピークが認められています(図)。

この病気にかかりやすい年齢層の子どもが集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは特に注意が必要です。感染対策は、接触感染を予防するためにしっかりと手洗いをするのと、排泄物を適切に処理することです。

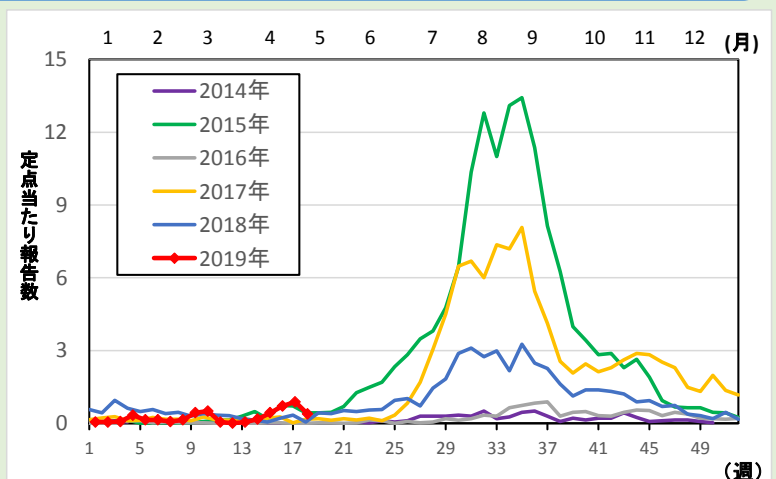


図: 青森県における手足口病報告数推移 (2014年~2019年第18週)

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [手足口病に関するQ&A \(厚生労働省 HP\)](#)

手足口病 厚生労働省



Ⅲ 全数把握対象疾患

・レジオネラ症（四類全数把握対象疾患）：青森市2人

（2019年計：4人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2019年第11週～第18週）

・第18週の患者報告数は117人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは112人【A型：81人、B型：31人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	11	12	13	14	15	16	17	18
東地方+青森市	108	83	38	44	42	31	33	32
弘前	68	63	43	42	51	36	19	9
三戸地方+八戸市	81	53	55	37	29	49	52	6
五所川原	93	96	74	59	36	27	32	12
上十三	65	50	80	33	22	30	40	35
むつ	311	273	56	111	97	44	24	23
合計	726	618	346	326	277	217	200	117

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	11	12	13	14	15	16	17	18
東地方+青森市	108	81	38	44	41	30	32	29
弘前	68	63	43	41	51	36	19	8
三戸地方+八戸市	81	53	54	35	26	38	31	4
五所川原	93	95	72	58	36	27	28	8
上十三	62	46	72	29	15	15	27	18
むつ	301	258	48	110	94	44	23	14
合計	713	596	327	317	263	190	160	81

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	11	12	13	14	15	16	17	18
東地方+青森市		2			1	1	1	3
弘前				1				1
三戸地方+八戸市			1	2	3	10	21	2
五所川原							1	4
上十三			2	1	5	14	11	12
むつ			1					9
合計	0	2	4	4	9	25	34	31

年齢区分別(人)

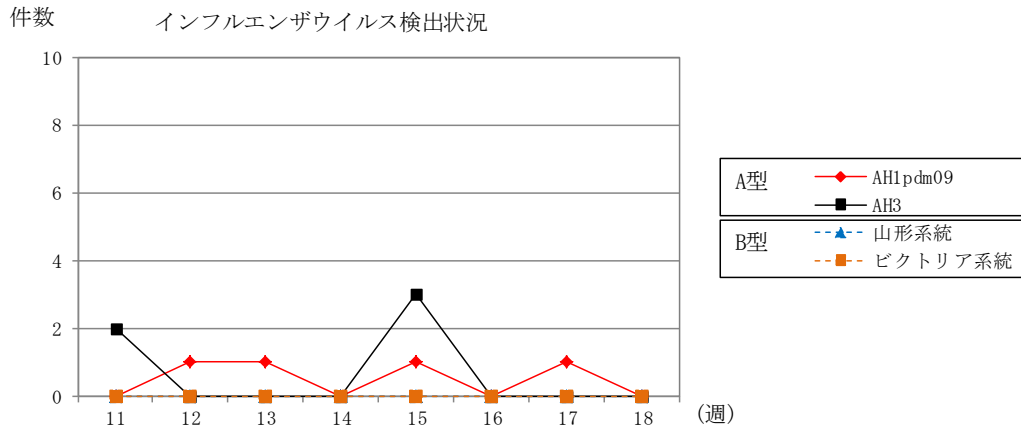
年齢区分	11	12	13	14	15	16	17	18
～5ヶ月	3	3	3	1				
～11ヶ月	7	6	5	7	4	4	3	3
1歳	25	24	21	13	8	12	11	2
2歳	31	43	28	17	12	8	7	1
3歳	35	26	22	18	12	7	11	1
4歳	46	38	17	17	13	3	9	2
5歳	66	42	17	16	9	11	6	2
6歳	80	36	17	8	13	14	12	2
7歳	27	25	8	6	10	7	6	5
8歳	22	16	14	7	9	6	12	4
9歳	28	15	10	6	9	9	6	5
10～14歳	83	69	31	14	35	26	28	10
15～19歳	16	13	6	5	10	21	21	9
20～29歳	32	34	21	21	18	9	14	16
30～39歳	58	49	18	36	17	17	12	17
40～49歳	47	46	25	33	27	16	15	15
50～59歳	30	36	15	30	23	13	11	5
60～69歳	28	36	23	20	18	8	6	9
70～79歳	30	25	24	19	17	5	4	4
80歳以上	32	36	21	32	13	21	6	5

VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2019							直近5週間 合計	2018/2019 シーズン 合計	
		11週	12週	13週	14週	15週	16週	17週			18週
提出検体数		2	1	1	0	4	0	3 (1)	1 (1)	8 (2)	67 (2)
A型	AH1pdm09		1	1		1		1		2	21
	AH3	2				3				3	40
B型	山形系統									0	0
	ビクトリア系統									0	0
合計		2	1	1	0	4	0	1	-	5	61

注1) 2018/2019シーズンは2018年第36週（9/3～9/9）～2019年第35週（8/26～9/1）

注2) 提出検体数の（ ）内の数は、現在検査中の検体数



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2019年第15週～第18週）

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
15	百日咳1人					
16	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症2人	梅毒1人				
17	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人		梅毒1人 百日咳1人		レジオネラ症1人	
18	レジオネラ症2人					

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2019年第15週～第18週） (人)

週	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
15		2	1			
16	2	1	4	2		
17		4	2		1	1
18						

・第17週に八戸市保健所管内で結核1人の届出がありましたので追加しました。

Ⅸ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2019年第1週～第17週までの累計）

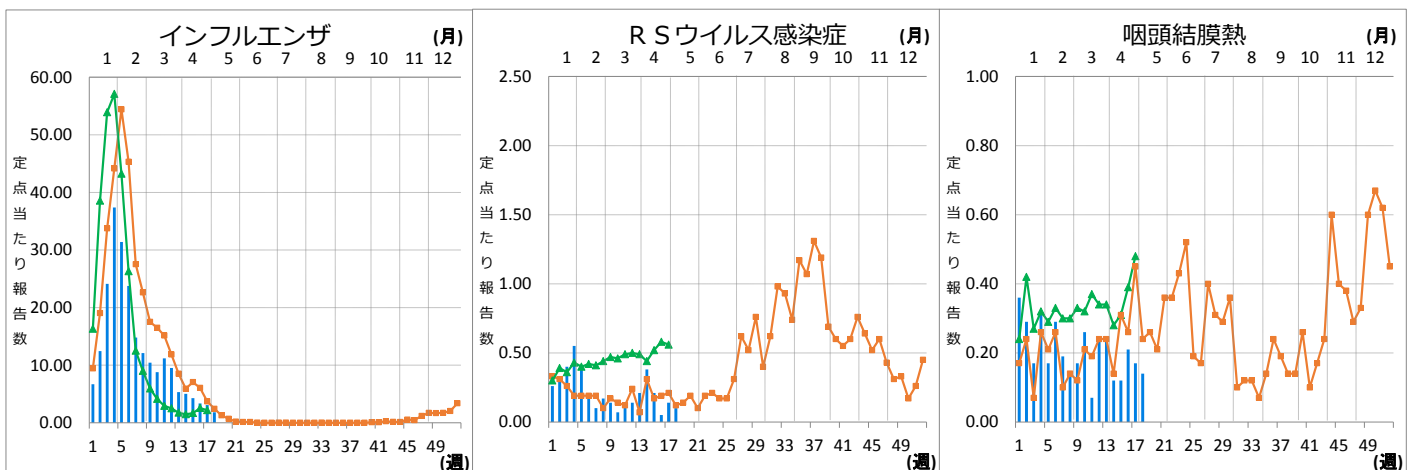
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокス症	オウム病
累積報告数	6553	2	30	338	11	8	160	151	3	9
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	1	13	2	47	96	13	1	1	11	413
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	3	286	98	592	18	367	6	50	301	370
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	先天性風しん症候群	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症
累積報告数	12	205	20	1265	135	2	2010	47	20	28
分類	五類	五類	五類	五類						
疾病名	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症						
累積報告数	5178	1377	450	12						

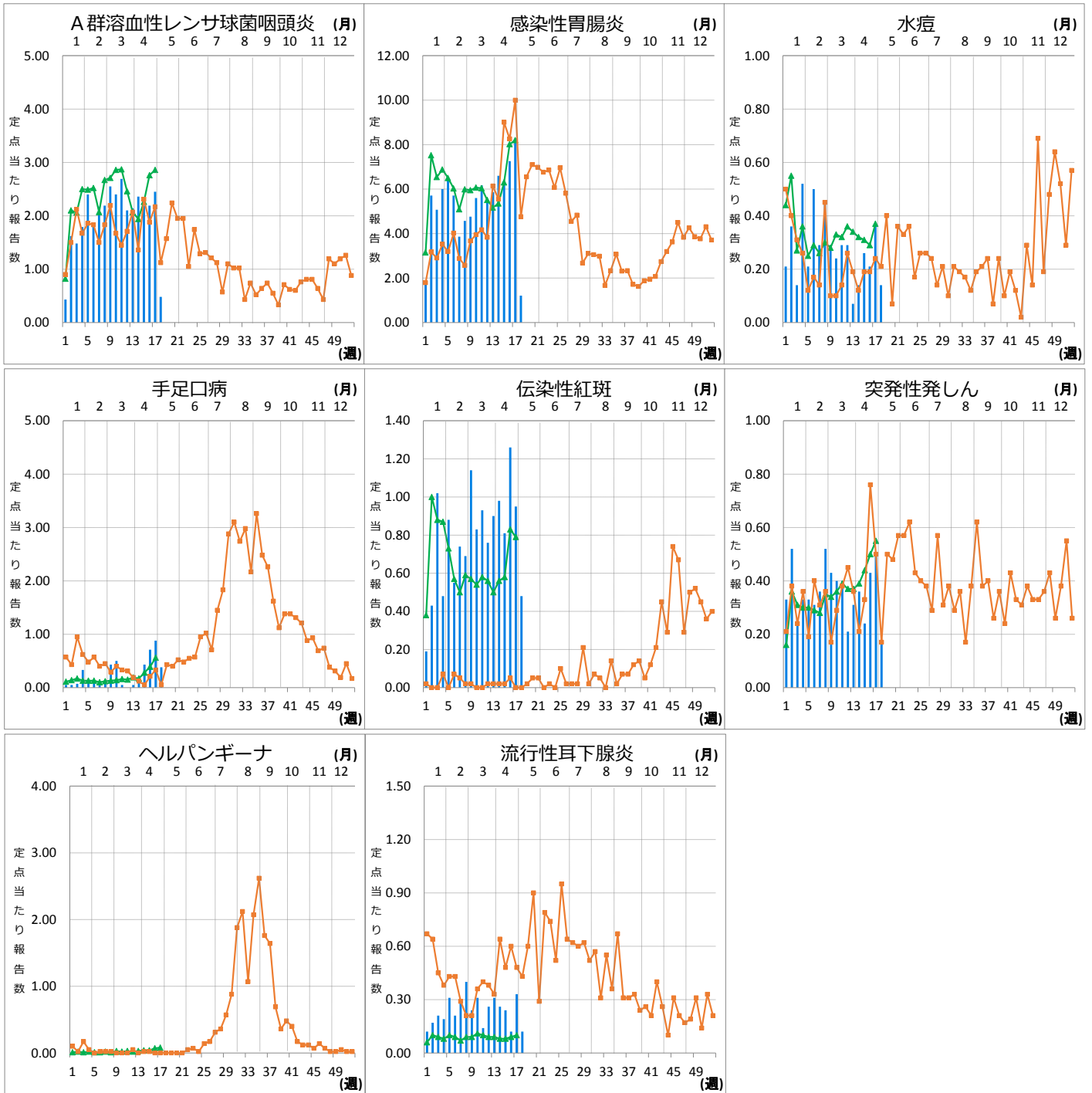
青森県（2019年第1週～第18週までの累計）

分類	二類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群
累積報告数	79	1	4	1	13	1	1	1	2	1
分類	五類	五類	五類	五類	五類					
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳					
累積報告数	1	8	9	3	11					

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2019年第18週、ただし全国は前週）

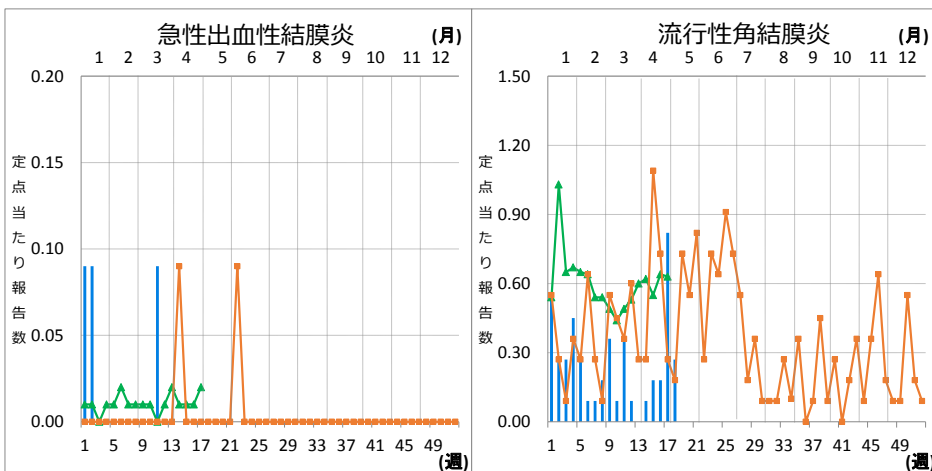
グラフの説明 ← 〇は2019年青森県、■は2018年青森県、▲は2019年全国





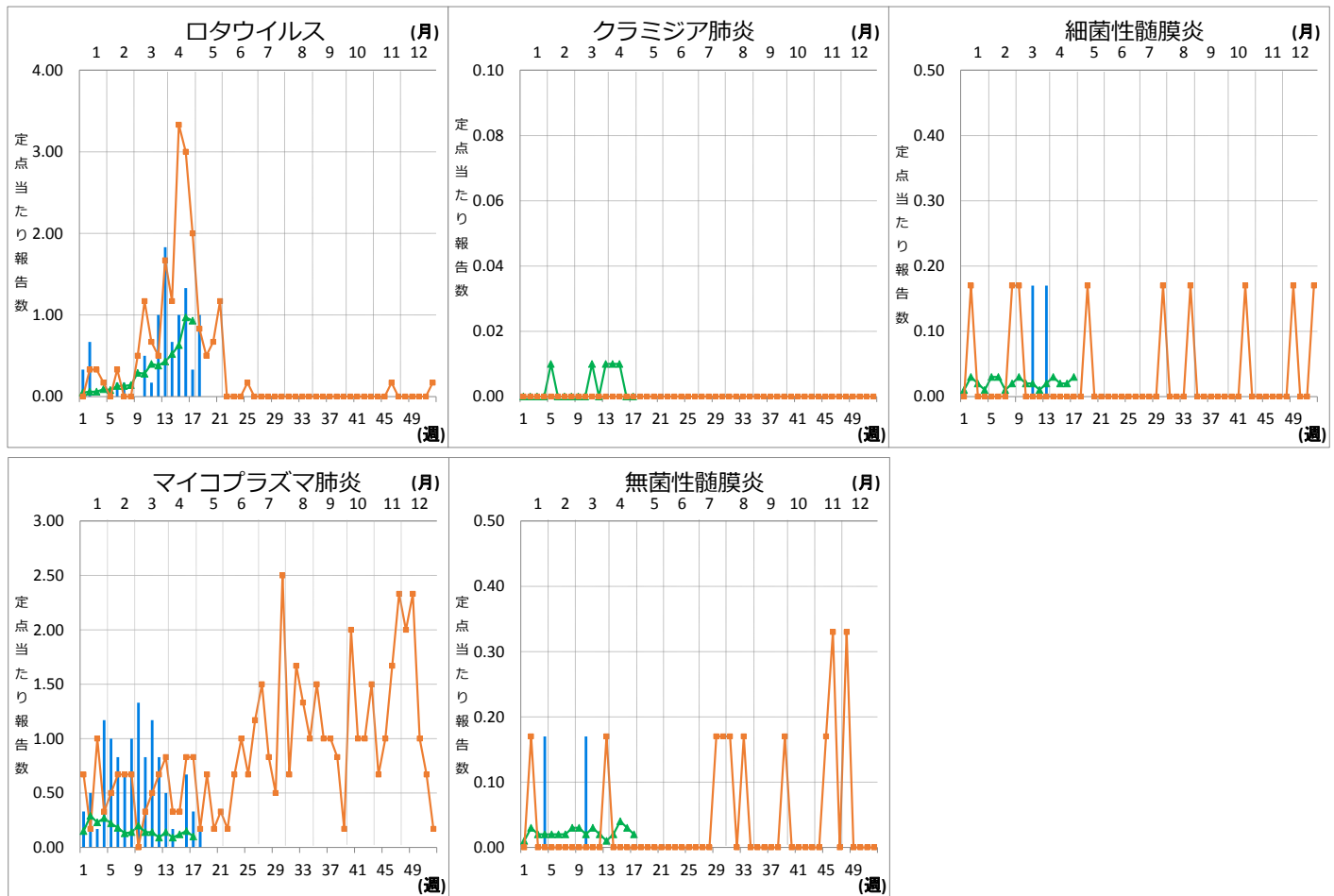
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2019年第18週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —は2019年青森県、■—■は2018年青森県、▲—▲は2019年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2019年第18週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2019年青森県、 は2018年青森県、 は2019年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

2019年第18週

報告はありませんでした。

2019年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18週	
介護・老人福祉関係施設	件数	1	0	1	1	0	3
	発症者数	29	0	24	89	0	142
児童・婦人関係施設等	件数	4	2	1	3	0	10
	発症者数	69	47	17	53	0	186
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	2
	発症者数	0	48	0	18	0	66
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	5	3	2	5	0	15
	発症者数	98	95	41	160	0	394